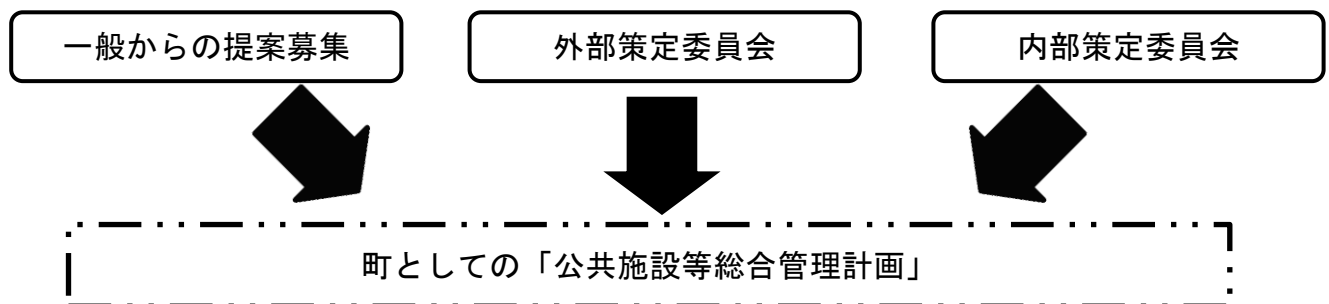


## ○「3つの柱」による計画策定状況について

「老朽化が進む公共施設等の更新問題」と「少子高齢化・人口減少社会に見合った公共施設等の最適配置」を検討し、将来の公共施設等のあり方に関する計画である「公共施設等総合管理計画」は、今年度中に策定することとしています。

公共施設等総合管理計画の検討は、役場内の職員で構成する「内部策定委員会」、公募による町民の方や学識経験者の方などから構成する「外部策定委員会」、「一般からの提案募集」の3つの柱によってそれぞれが独立して計画立案を行うこととしています。



上の図のように、3つの柱からの提案、提言等を最終的に「一つのものに取りまとめる」作業を行うこととし、現在は「町としての公共施設等総合管理計画」を3月公表に向けて策定作業中です。

今回のニュースでは、3つの柱によってどのような提案、提言、立案がなされているのか、昨年12月末時点での状況をお知らせします。

○一般からの提案については、既に募集を締め切っており、2件のご意見を頂いています。

○外部策定委員会からは、12月20日に独自の計画書が町長へ提言されました。

○内部策定委員会については、「中間案」を昨年9月に公表しています。

3つの柱、それぞれがどのような提案、提言、立案となっているのかは、別添「平成28年12月末時点での「公共施設等総合管理計画」策定経過のポイント」をご覧ください。

◎これからも様々な情報提供をこの紙面上において行っていくしますので、引き続き「未来の公共施設ニュース」にご注目ください。

